

第1回教育部研修会報告書

平成26年度教育部研修会を開催しましたので、以下にご報告させていただきます。

日 時：平成26年8月3日（日） 9時30分～15時30分

テーマ：卒前教育（実習生の教育）

講 師：若山 佐一 先生（弘前大学大学院 保健学研究科 教授）

会 場：山形医療技術専門学校

参加者：14名

スタッフ：山口広樹（篠田総合病院）、菅原麻理子（日本海総合病院）

齋藤真穂（山形ロイヤル病院）、佐藤有加（日本海総合病院酒田医療センター）

鈴木健太（在宅リハビリ看護ステーションつばさ天童サテライト）

研修内容：臨床における論理的な考え方・まとめ方の指導方法

午前中は、教育理論、臨床実習（教育）の現状、臨床における理論的な考え方・まとめ方の指導について講義していただいた。理学療法教育ガイドライン（1版）に沿って到達目標の変移について分かりやすく説明していただき、指導方法については臨床実習指導者の4つの役割（専門家、モデル、共同学習者、ファシリテーター）やフィードバックのポイント、学生をActive learnerにするコツ、クリニカルクラークシップ等を紹介していただいた。統合と解釈については、指導者と学生間での効果的な介入方法として省察（reflection）や臨床推論（clinical reasoning）、フィードバックについて説明していただいた。

午後からは、参加者から臨床実習指導で難渋した事例を提示し、その中から3事例についてワークショップ形式で事例検討を行った。どの事例も共感できるものであり、各グループとも活発な意見交換ができていました。

